

弱視学級では

傾斜机

いい姿勢で読み書きができます。



単眼鏡

遠くを見るレンズで黒板を見て書き写します。

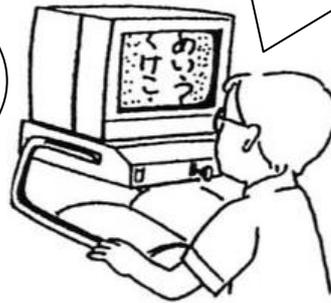


近用レンズ

近くのものを見るルーペです。

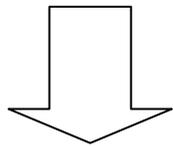
拡大読書器

本などの文字を TV 画面に拡大して映し出す機器です。



こんなことでお困りではありませんか

- 極端に目を近づけて本やテレビを見る。
- 画数の多い漢字や、細かい目盛り、地図などを見るのが大変疲れる。
- 本を読むとき、行をとばしたり、読み間違えたりする。
- 階段や暗い所(雨の日、夜など)でつまずきやすい。
- ボール運動で、ボールがどこから飛んでくるかわからない。



見やすくする工夫や、よく見る練習をすることで、生活や学習の様子がずいぶん変わってきます。

弱視学級では、

将来の自立に向けて必要な力を身につけるサポートをします。

1. 教育目標

- (ア) 人間性豊かな成長と、思いやりの心を育む。
- (イ) 自己の障害について理解を深め、将来の自立に向け必要な力を身につける。
- (ウ) 自ら考える力と、基礎的な学習する力を育成する。

2. 指導の重点（基本方針）

①各教科・道徳・特別活動・自立活動

- ・視知覚の能力を補い、環境の認知力を育て、行動力や移動能力の向上を図る。
- ・眼疾に応じた視覚管理と感覚代行機器を十分に活用できる能力を育てる。
- ・目と手の協応動作の発達を促し、手指の巧緻性を高める。

②生活指導

- ・視覚障害を克服し、自己の力を最大限に生かした基本的な生活習慣を身につけさせ、健康・安全の意識と態度を養う。

③進路指導

- ・社会的、経済的自立をめざし、各自の特性、眼疾に適した進路を選択する力を養う。

3. 週時間割

生徒の実態に応じて約2時間、週1～2回の授業を行う。

4. 主な年間行事

- ・個別面談
- ・弱視学級講演会
- ・視覚機能検査

最寄駅	地下鉄有楽町線	氷川台駅	徒歩	5分
	西武有楽町線	新桜台駅	徒歩	10分
	西武池袋線	桜台駅	徒歩	15分

